

佐倉市地域公共交通計画 基礎調査の実施状況について

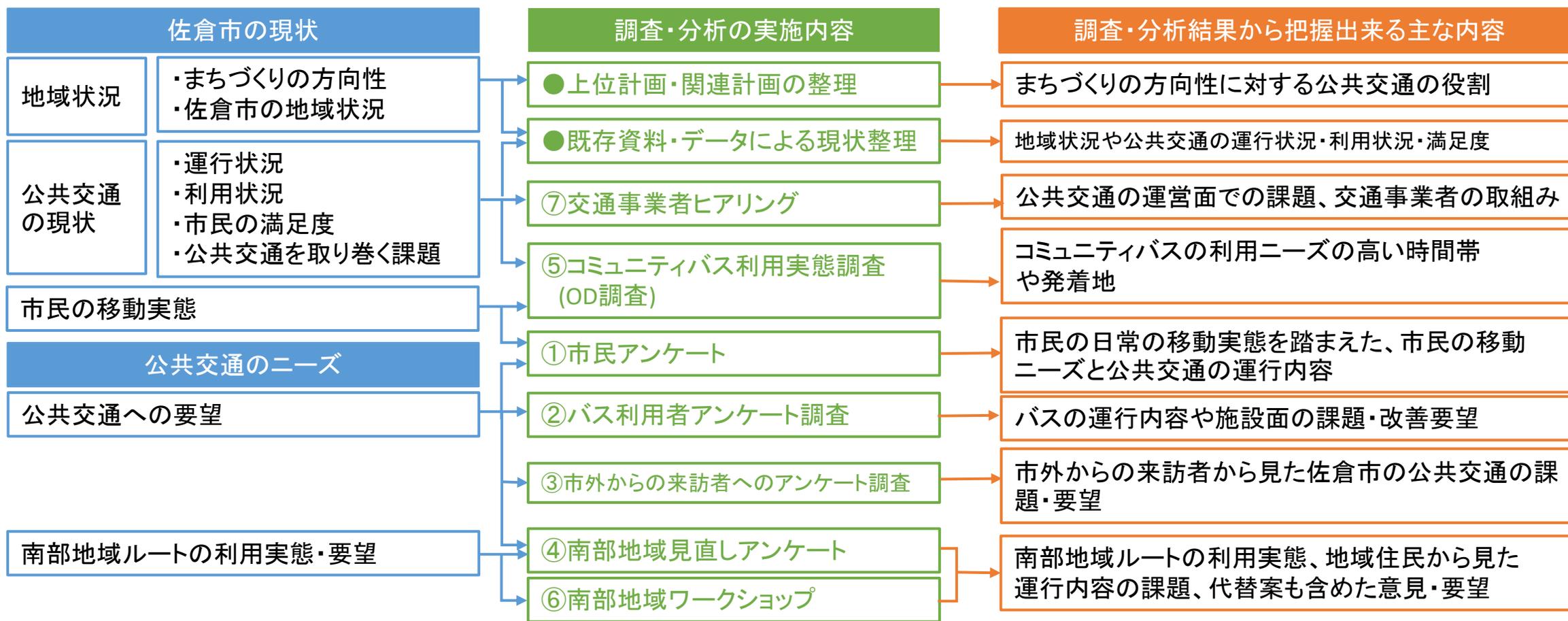
令和5年11月13日

目次

• 1	基礎調査における現況調査・分析の実施内容	2
• 2	現況調査の実施状況	3
• 3	調査の実施結果概要(①市民アンケート)	4
• 4	調査の実施結果概要(②バス利用者アンケート)	10
• 5	調査の実施結果概要(③市外からの来訪者アンケート)	13
• 6	調査の実施結果概要(④南部地域見直しアンケート)	16
• 7	調査の実施結果概要(⑤コミュニティバス利用実態調査)	19
• 8	調査の実施結果概要(⑥南部地域ワークショップ)	22
• 9	今後のスケジュールについて	23

1 基礎調査における現況調査・分析の実施内容

佐倉市の現状や公共交通に対する市民や来訪者のニーズを把握するために、上位計画・関連計画や統計データ等による現状整理を行い、あわせてアンケート調査(①～④)、OD調査(⑤)、ヒアリング等の意見聴取(⑥、⑦)を実施



2 現況調査の実施状況(令和5年10月時点)

	調査概要	調査実施期間	実施状況
①市民アンケート	市民の日常の移動実態や公共交通の利用状況、公共交通に対する意見・要望等を調査（郵送配布・回収＋インターネット回答）	令和5年9月上旬～10月上旬	配布枚数：3,000枚 回答件数：1,240件（41.3%） （回答者数：2,249人）
②バス利用者アンケート調査※	バス利用者を対象に路線バス及びコミュニティバスの利用実態、改善事項等の意見・要望を調査	【平日】令和5年9月6日（水） 【土日休】令和5年9月2日（土）	配布枚数：2,953枚 （平日：2,094枚、土日休：859枚） 回収件数：1,018件（34.5%）
③市外からの来訪者へのアンケート調査	市外からの来訪者の公共交通の利用実態や公共交通に関する意見・要望を調査（インターネットによる調査）	令和5年9月26日（火） ～令和5年9月28日（木）	回収件数：300件
④南部地域見直しアンケート※	南部地域ルートの利用実態、地域住民から見た運行内容の課題、代替案も含めた意見・要望を調査	令和5年9月上旬～10月上旬	配布枚数：1,336枚 回答件数：391件（29.3%） （回答者数：732人）
⑤コミュニティバス利用実態調査（OD調査）	コミュニティバス路線について、路線別、便別の利用特性を把握するため、停留所間のODを調査	【平日】令和5年9月6日（水） 【土日休】令和5年9月2日（土）	観測結果をもとに、コミュニティバスの利用者数及び各乗降所の乗降者数を集計
⑥南部地域ワークショップ	南部地域の公共交通の現状、利用状況、意見・要望を把握するために、ワークショップ（意見交換会）による意見聴取	令和5年10月25日（水） 令和5年10月31日（火）	ワークショップを2回開催し、地域住民の意見を収集（取りまとめ中）
⑦交通事業者ヒアリング	市内の公共交通の利用実態、利用促進策、今後の予定（路線維持・見込み等）、利用者の意見・要望等を把握するために、交通事業者を対象に意見聴取	—	令和5年11月～12月頃実施予定

3 調査の実施結果概要（①市民アンケート）

（1）調査概要

市民の日常の移動実態や公共交通の利用状況、公共交通に対する意見・要望等を調査

- ✓ 調査対象 佐倉市に住民票を有する15歳(高校生)以上を対象
- ✓ 配布数 3,000世帯(1世帯当たり平均2名の解答を想定、6地区※に500部ずつ配布)
※佐倉地区・臼井地区・志津地区（北部・南部）根郷地区・千代田地区
- ✓ 調査方法 対象者に郵送し、郵送・オンラインにより回収

項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	<ul style="list-style-type: none">・住所 ・年齢 ・性別 ・職業・免許の保有状況・自動車の運転継続意向	<ul style="list-style-type: none">○属性別の傾向把握・後続の質問で把握する、公共交通の利用実態や要望等の回答とクロス集計し、地区別、年齢別等の属性別のニーズを把握
移動実態 (通勤通学、買い物、 通院別)	<ul style="list-style-type: none">・移動先の所在地・移動先の施設名称・移動手段 ・移動時間帯 ・移動頻度	<ul style="list-style-type: none">○移動に関するニーズを踏まえた施策検討・市民のライフスタイルに応じた移動実態を把握することにより、コミュニティバスの運行内容の見直しや路線バスの利用促進等の施策の検討に活用
公共交通に関する 意見・要望	<ul style="list-style-type: none">・公共交通を利用しない理由・自動車以外の代替移動手段・公共交通の運行で希望する目的地	<ul style="list-style-type: none">○公共交通の改善内容・利用促進策の検討・利用者の意見を踏まえた施策検討

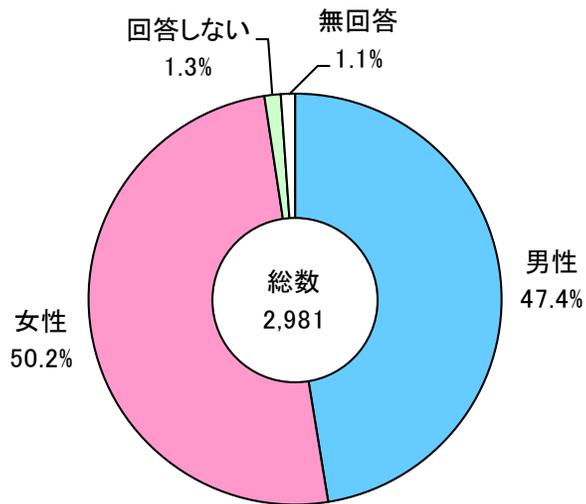
3 調査の実施結果概要 (①市民アンケート)

(2) 調査結果 (回答者属性)

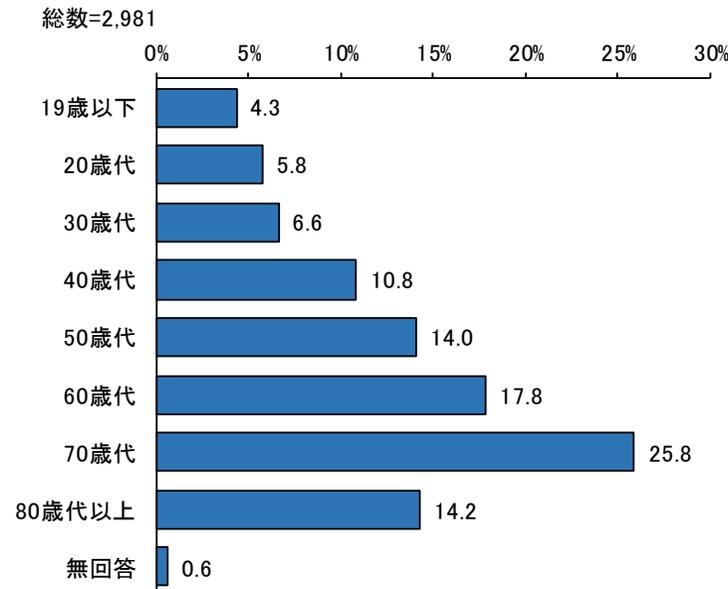
※南部地域見直しアンケート調査の回答を含む

- 回答者の男女比は、概ね同程度である。また、年齢は70代の方が最も多く、40代～80代の回答が大半を占める
- 回答者の居住地を見ると、回答は佐倉市内の各地区から満遍なく回答が得られている。

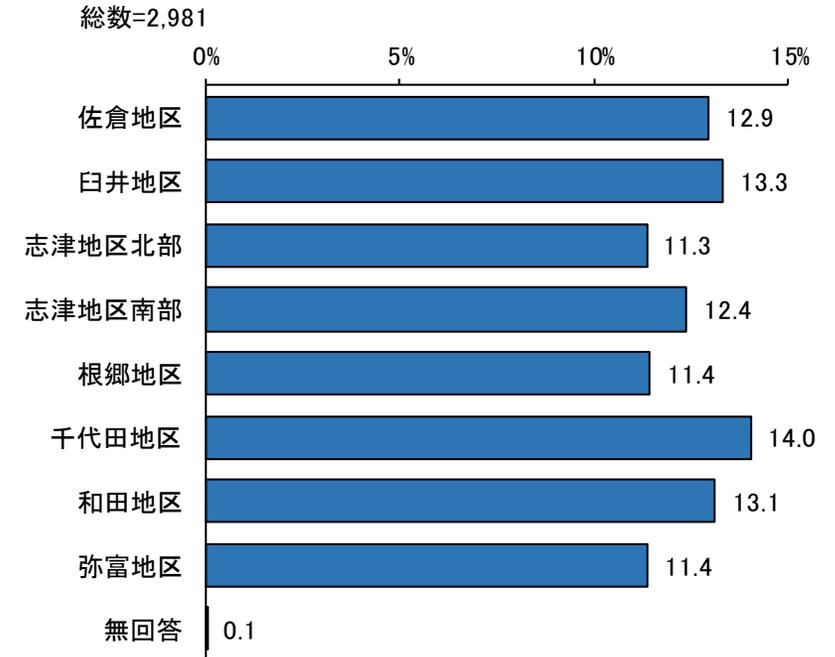
性別



年齢



居住地



3 調査の実施結果概要（①市民アンケート）

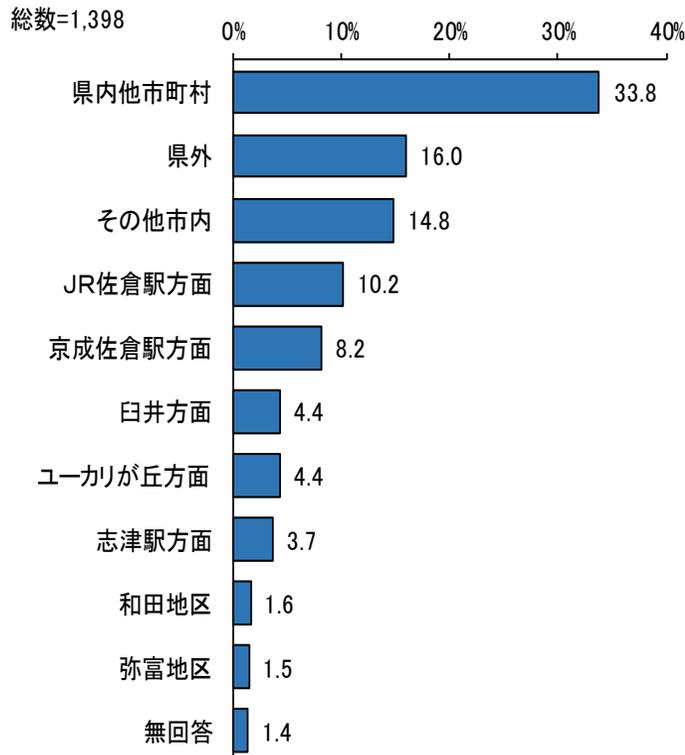
（3）調査結果（目的地の所在地）

※南部地域見直しアンケート調査の回答を含む

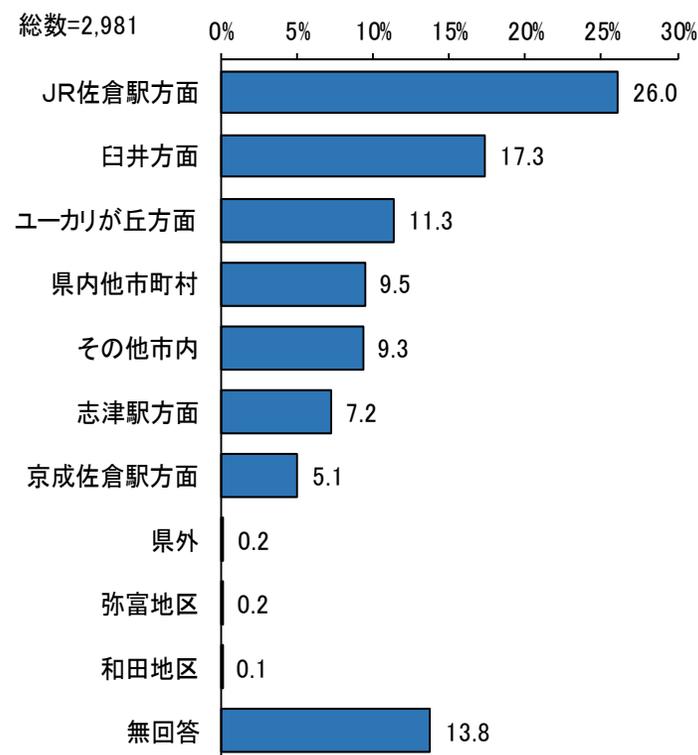
- 通勤・通学先の所在地は、県内各市町村が最も多く、次いで県外へ移動しており、市外が5割程度である。
- 買い物では、JR佐倉駅方面への移動が最も多く、次いで臼井方面の買い物先へ移動する傾向が見られる。
- 通院では、臼井方面、JR佐倉駅方面、佐倉市外の県内の各市町村へ移動する傾向が見られる。

目的地の所在地

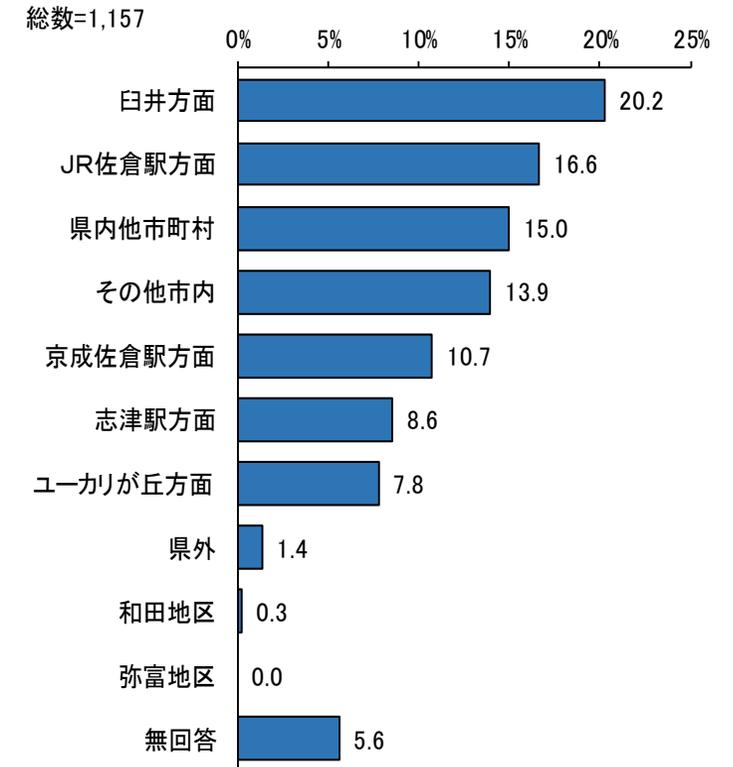
通勤・通学



買い物



通院



3 調査の実施結果概要 (①市民アンケート)

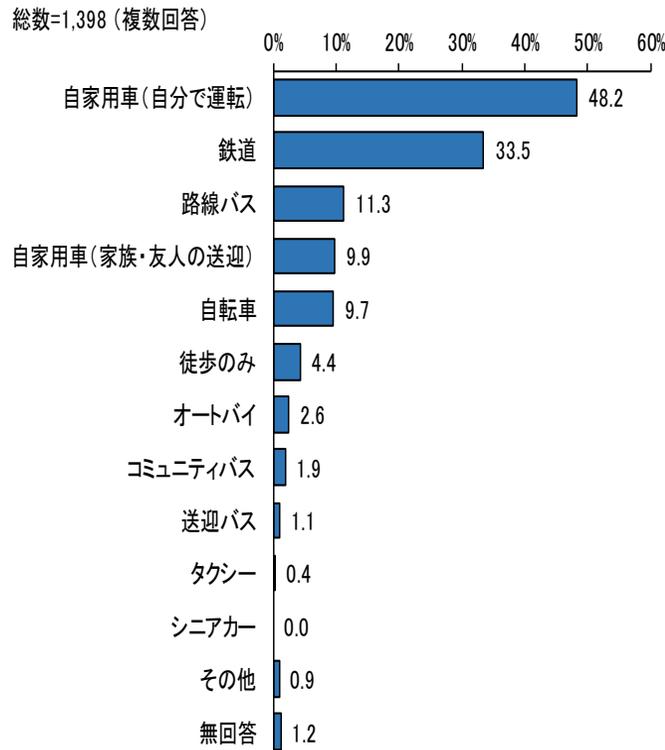
(4) 調査結果 (移動手段)

※南部地域見直しアンケート調査の回答を含む

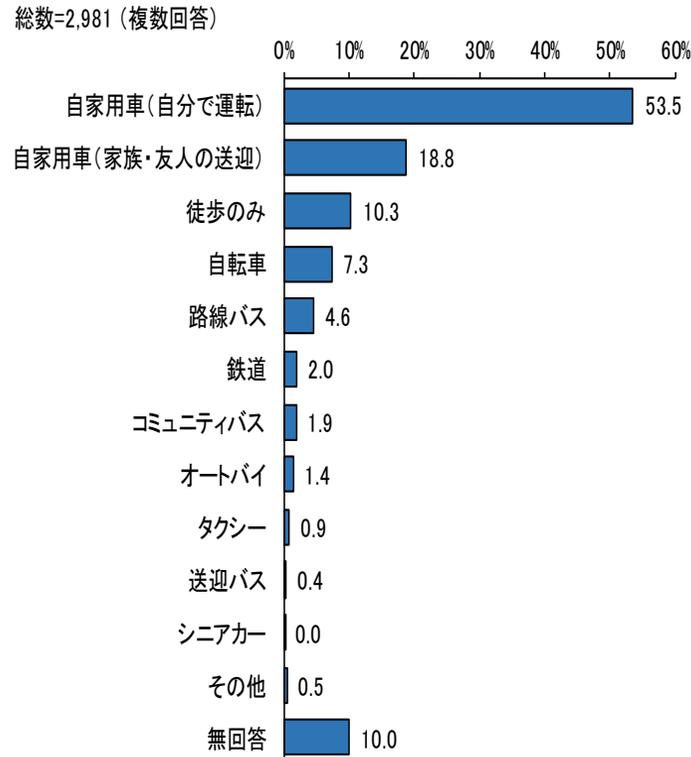
- 目的地への移動手段については、どのケースにおいても自家用車を自分で運転して移動する方が約5割
- その他、通勤・通学では鉄道の利用が3割程度、買い物及び通院では家族・友人の送迎での移動が2割程度と多く見られる。

目的地への移動手段

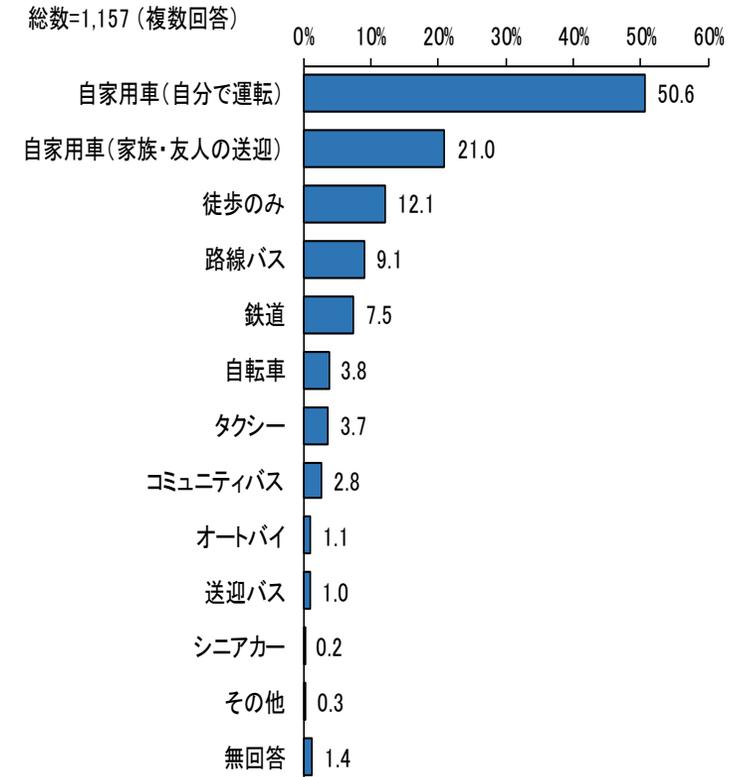
通勤・通学



買い物



通院



3 調査の実施結果概要 (①市民アンケート)

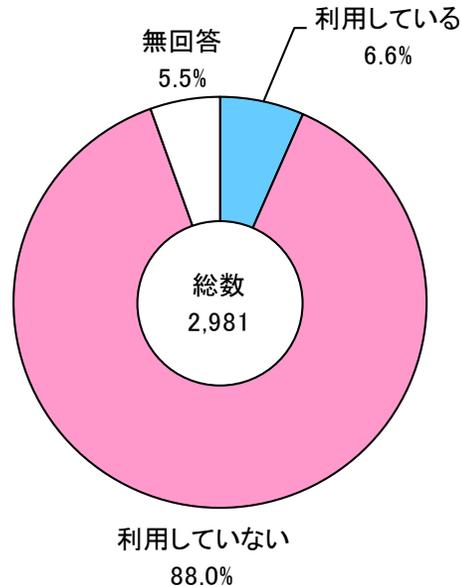
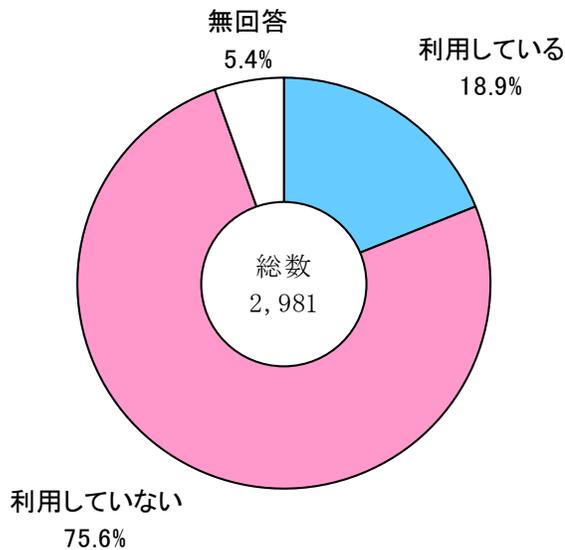
(5) 調査結果 (路線バス・コミュニティバスの利用状況)

- 路線バスでは全体の約2割が、コミュニティバスでは全体の約1割が利用していると回答している
- 路線バスやコミュニティバスを利用しない理由としては、送迎を含む自動車での移動が大半を占める他、路線バスでは運行本数や目的地へ移動できないこと、コミュニティバスではバス停・行先・ダイヤの認知度や目的地まで移動できないという回答が多く寄せられた

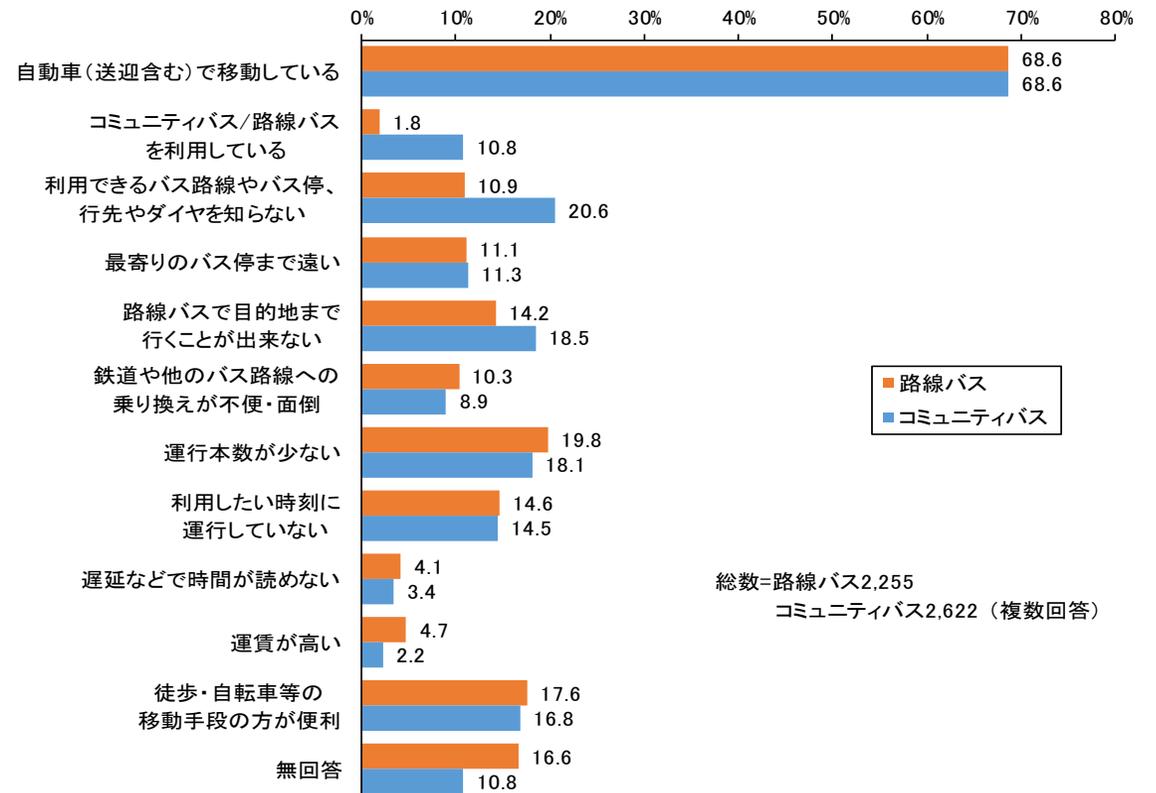
利用状況

路線バス

コミュニティバス



利用しない理由



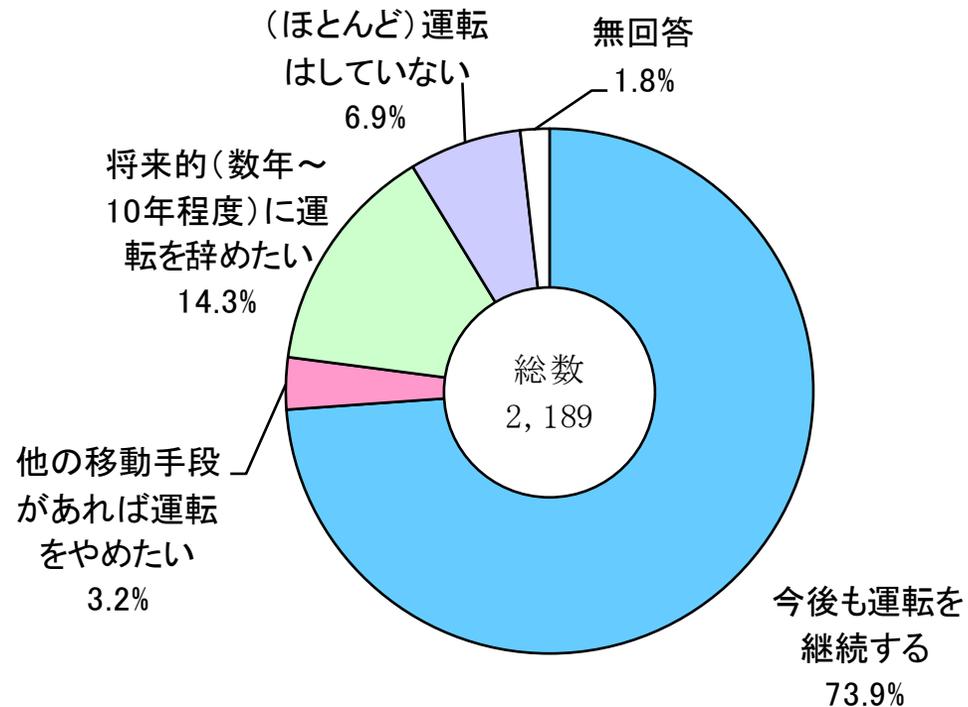
3 調査の実施結果概要（①市民アンケート）

※南部地域見直しアンケート調査の回答を含む

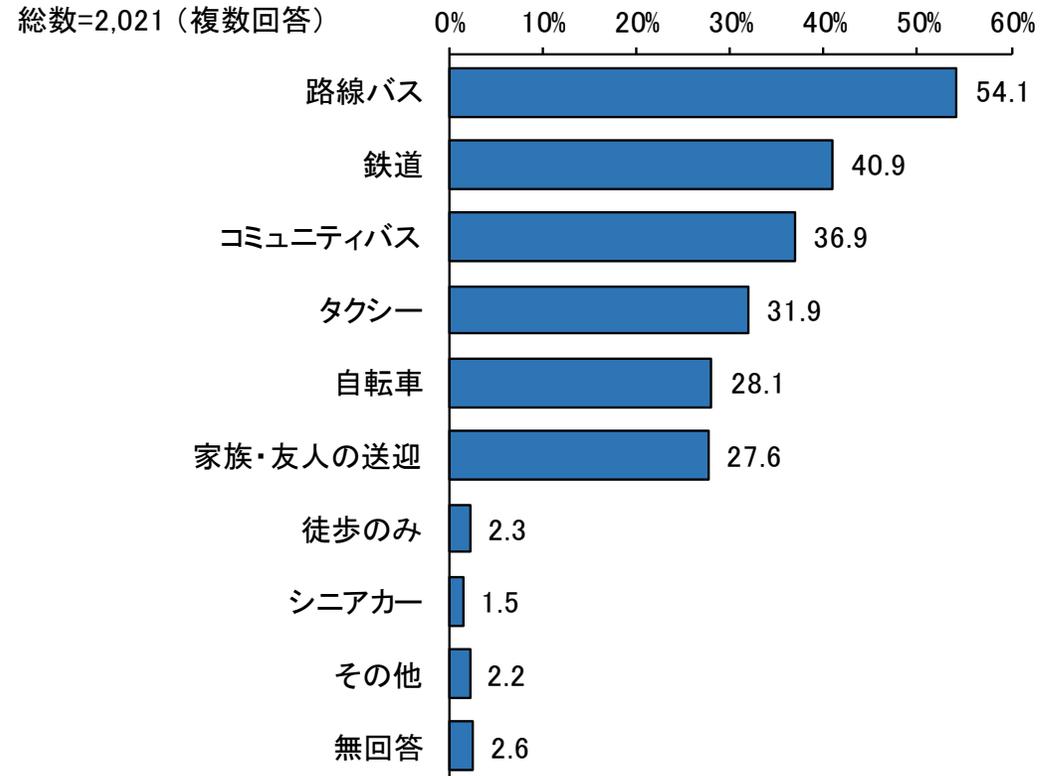
（6）調査結果（運転の継続意向・自動車の代替手段）

- 運転免許証を持っている方のうち、約7割が今後も運転を継続すると回答している一方、将来的に運転をやめたいという回答が一定数（約14%）見られる
- 自動車がなくなったときの移動の代替手段としては、路線バスの回答が最も多く、その他鉄道やコミュニティバスなどの公共交通を利用するという回答が多く得られた

運転の継続意向



自動車の代替手段



4 調査の実施結果概要（②バス利用者アンケート）

（1）調査概要

バス利用者を対象に路線バス及びコミュニティバスの利用実態、改善事項等の意見・要望を調査

- ✓ 調査対象 京成佐倉駅、臼井駅、ユーカリが丘駅、志津駅、JR佐倉駅の5鉄道駅バス停の利用者
- ✓ 配布数 2,953票（5駅合計で平日2,094票、休日859票）
- ✓ 調査方法 バスの乗車待ちをしている対象者に調査票を配布し、郵送・オンラインにより回収

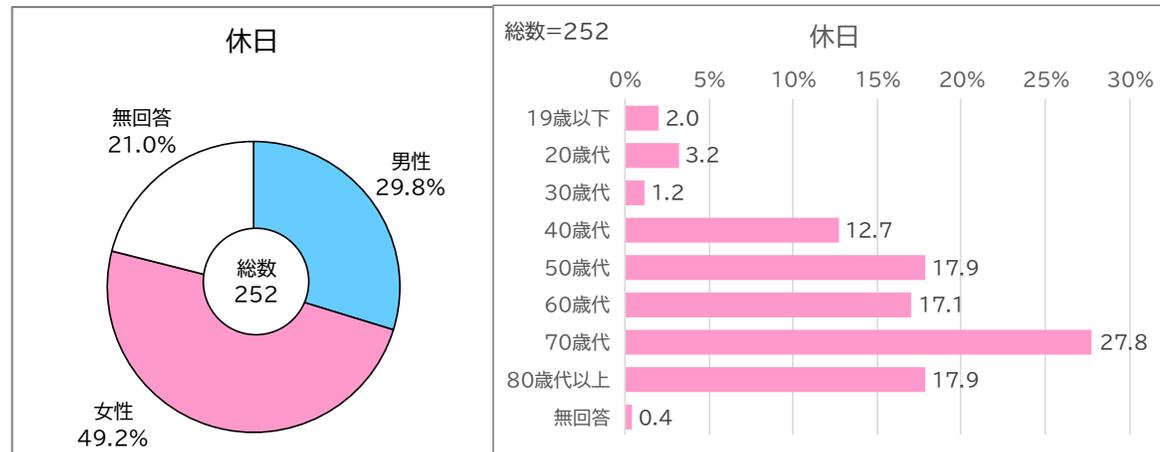
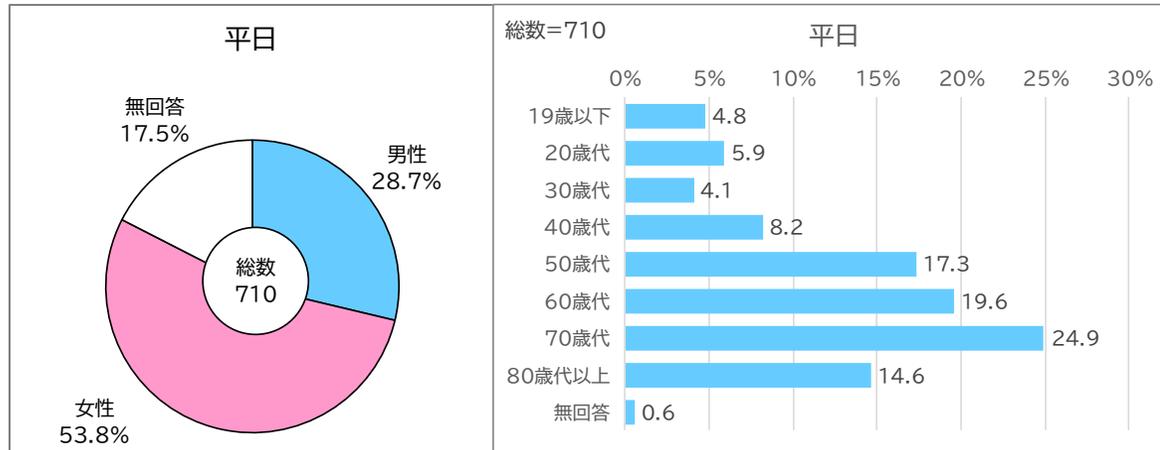
項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住所 ・ 性別 ・ 年齢 ・ 職業（学生、会社員等） ・ 免許の保有状況 	○属性別のバス路線の利用傾向やニーズの把握
移動実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用したバス路線 ・ 乗降停留所名 ・ 移動目的 ・ 移動目的地（施設名称） ・ 移動頻度 ・ 移動時間帯 ・ バス以外に利用する公共交通 	○バス路線の利用状況の把握
バス路線に関する意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスやコミュニティバスの改善を期待する機能 ・ バスや、公共交通全体に対しての意見 	○公共交通の改善内容・利用促進策の検討

4 調査の実施結果概要 (②バス利用者アンケート)

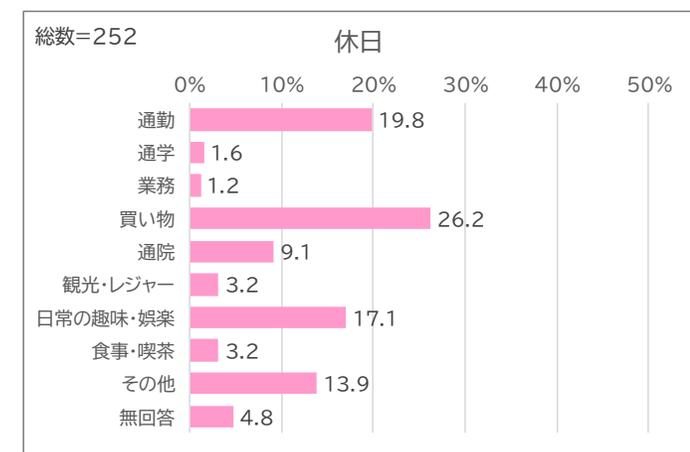
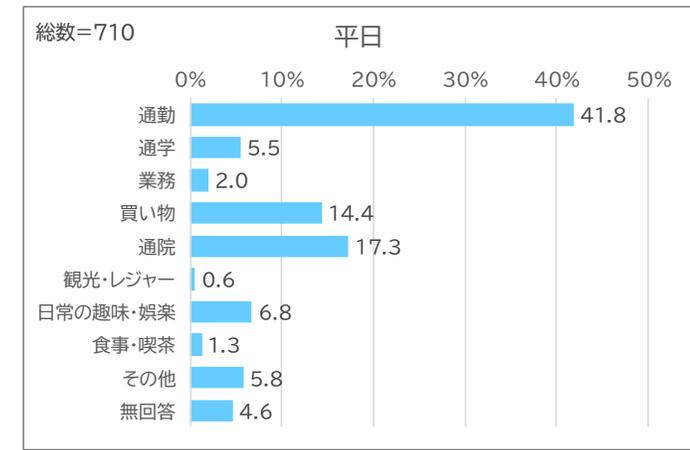
(2) 調査結果 (属性・移動目的)

- 回答者は女性の回答者が男性を大きく上回っている。また、年齢は70代の方が最も多く、50代～80代の回答が大半を占める
- 主な移動目的は、平日では「通勤・通院・買い物」、休日では「買い物・通勤・日常の趣味・娯楽」である

回答者属性(性別・年齢)



移動目的

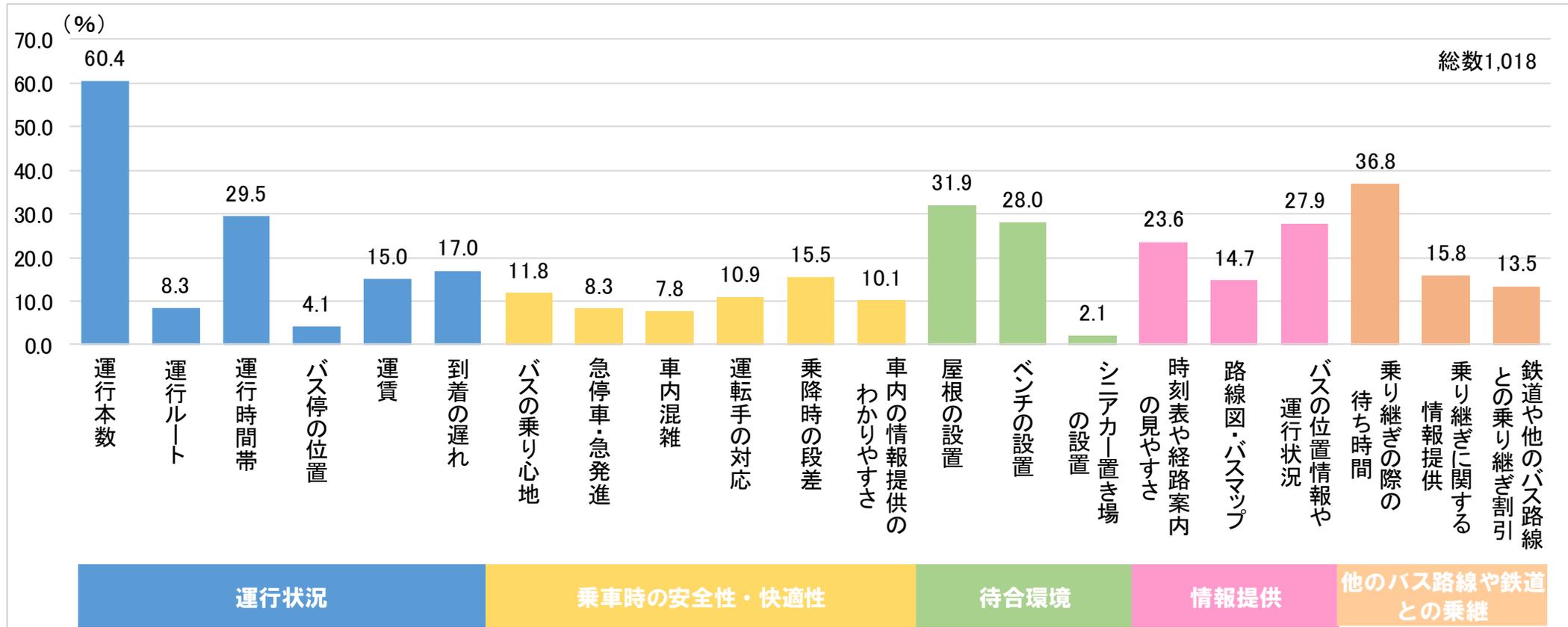


4 調査の実施結果概要（②バス利用者アンケート）

（3）調査結果（路線バスやコミュニティバスに対する改善要望）

- 路線バスやコミュニティバスに対する改善要望は、運行本数を挙げる回答者が最も多く、乗継の際の待ち時間や運行時間帯等、移動に関する要望が目立つ
- また、屋根やベンチの設置といった待合環境や、バスの位置情報・運行状況、時刻表や経路案内に関する改善を求める声も挙がっている

路線バスやコミュニティバスに改善を期待すること



5 調査の実施結果概要（③市外からの来訪者へのアンケート）

（1）調査概要

市外からの来訪者の公共交通の利用実態や公共交通に関する意見・要望を調査

- ✓ 調査対象 首都圏(1都3県)在住者で、過去2年間に佐倉市に来訪した人
上記の中で佐倉市内の路線バス、コミュニティバス、鉄道駅を利用した人
- ✓ 回収数 300票
- ✓ 調査方法 インターネットアンケートを使用し、オンラインにより回収

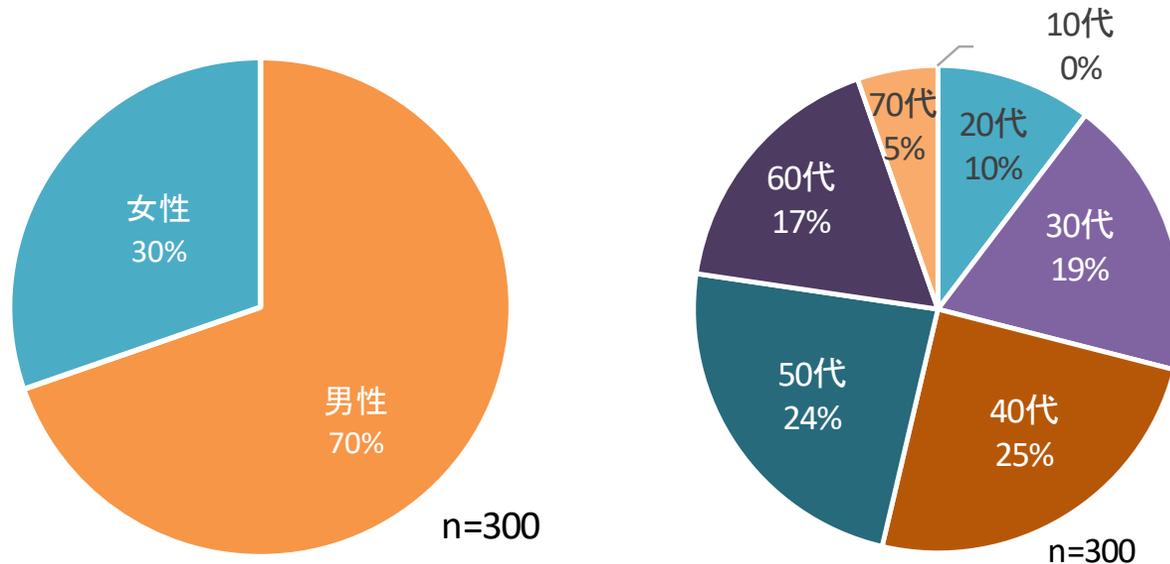
項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性別 ・ 年齢 ・ 職業(学生、会社員等) 	○属性別の移動傾向やニーズの把握
移動実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪目的 ・ 来訪目的地(施設名称) ・ 来訪頻度 ・ 来訪時間帯 ・ 利用した交通手段(バス、鉄道、自家用車等) 	○市外からの来訪者のバス路線の利用状況の把握
路線バス・ コミュニティバス について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスやコミュニティバスの満足度 ・ 路線バス・コミュニティバスを利用しなかった理由 ・ 改善による佐倉市への再来意志 ・ 路線バス、コミュニティバスに対する意見 	○公共交通の改善内容・利用促進策の検討

5 調査の実施結果概要（③市外からの来訪者へのアンケート）

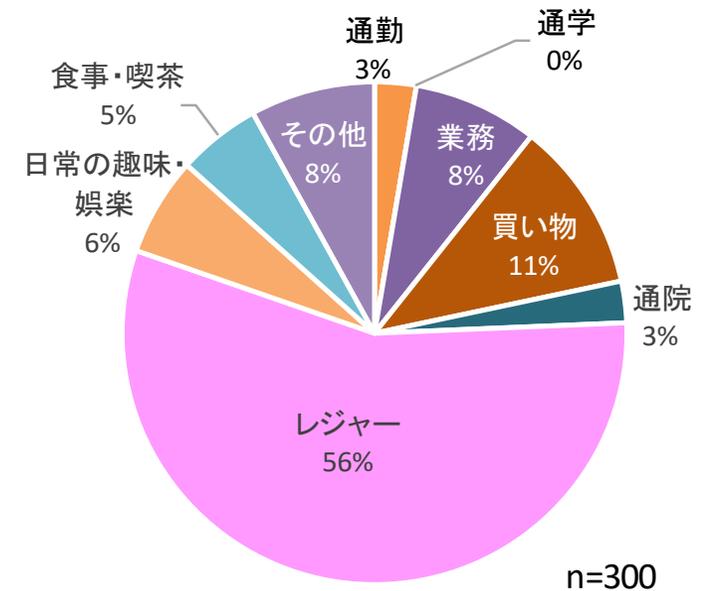
（2）調査結果（属性・移動目的）

- 回答者は男性の回答者が女性を大きく上回っている。また、回答者の年齢は30代～60代を中心に満遍なく回答が得られた
- 主な来訪目的は、レジャーと回答した方が全体の56%を占める

回答者属性(性別・年齢)



来訪目的

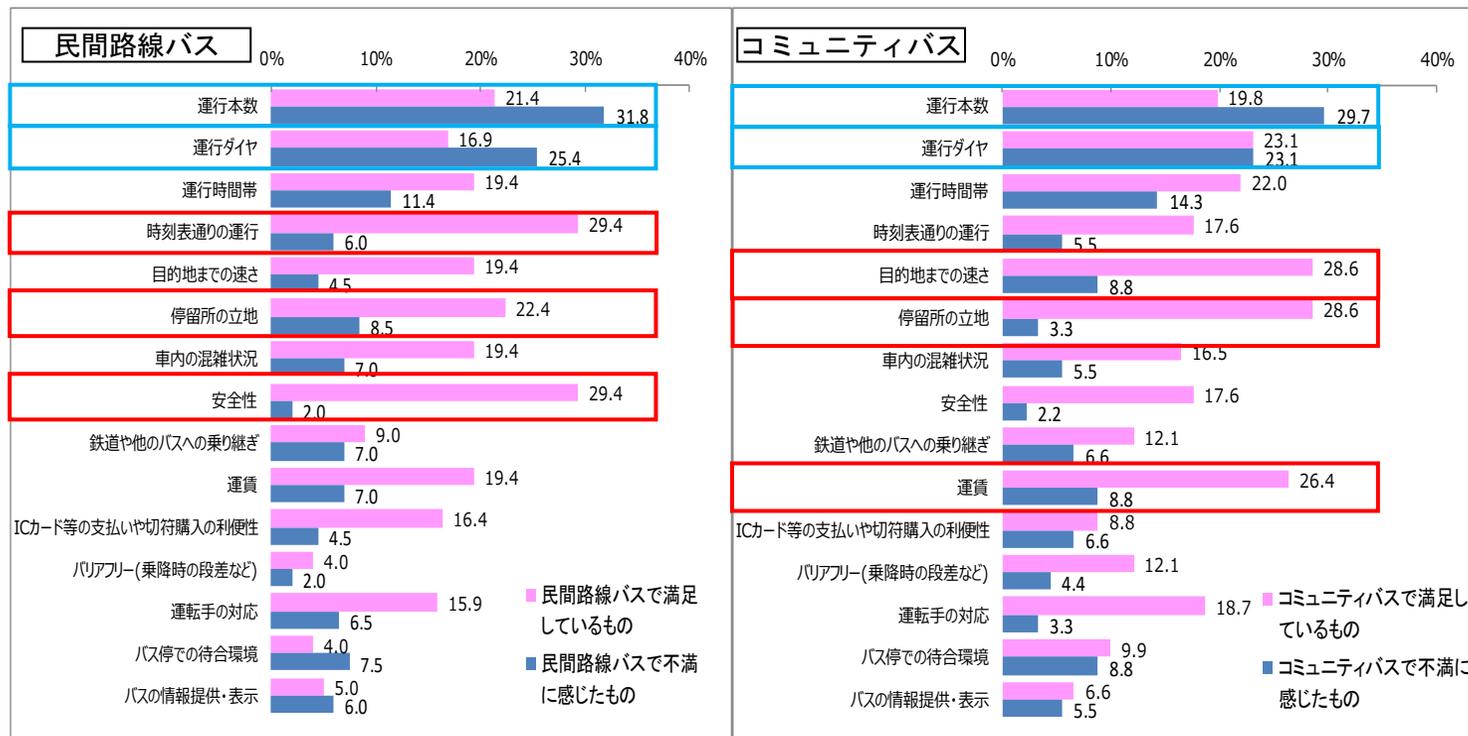


5 調査の実施結果概要 (③市外からの来訪者へのアンケート)

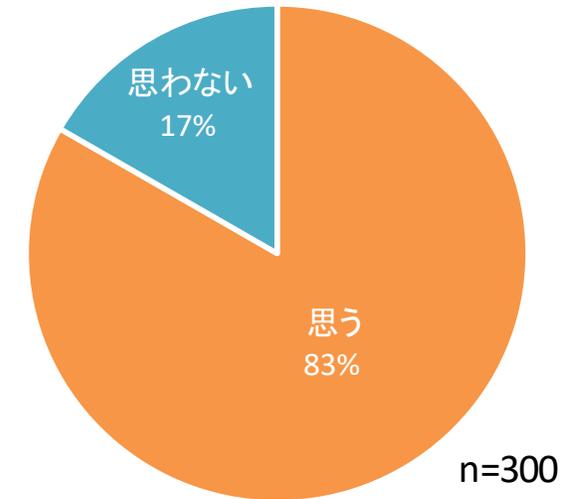
(3) 調査結果 (満足度)

- 佐倉市内の路線バスでは「安全性」「時刻表通りの運行」「停留所の立地」などが、コミュニティバスでは「目的地までの速さ」「停留所の立地」「運賃」などが満足したものと挙げられている
- 逆に不満に感じたものは、路線バス及びコミュニティバスともに「運行本数」「運行ダイヤ」などが挙げられている
- 路線バスやコミュニティバスが今より便利になったら、約8割の人が今よりも頻繁に佐倉市を訪れたいと回答している

路線バスやコミュニティバスに関する満足度



バスの利便性が向上したときの来訪意向 (今よりも頻繁に訪問したいと思うか)



6 調査の実施結果概要（④南部地域見直しアンケート）

（1）調査概要

南部地域ルートの利用実態、地域住民から見た運行内容の課題、代替案も含めた意見・要望を調査

- ✓ 調査対象 佐倉市の和田地区、弥富地区に住民票を有するもの
- ✓ 配布数 和田地区・弥富地区の全世帯（1,336世帯）に配布（1世帯当たり平均2名の解答を想定）
- ✓ 調査方法 対象者に郵送し、郵送・オンラインにより回収

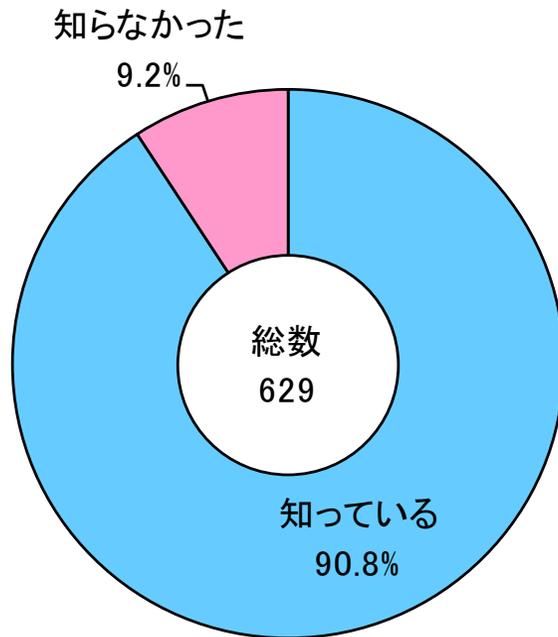
項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	<ul style="list-style-type: none"> ・住所 ・年齢 ・性別 ・職業 ・免許の保有状況 ・自動車の運転継続意向 	<ul style="list-style-type: none"> ○属性別の傾向把握 ・後続の質問で把握する、公共交通の利用実態や要望等の回答とクロス集計し、地区別、年齢別等の属性別のニーズを把握
移動実態 (通勤通学、買い物、通院別)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動先の所在地 ・移動先の施設名称 ・移動手段 ・移動時間帯 ・移動頻度 	<ul style="list-style-type: none"> ○移動に関するニーズを踏まえた施策検討 ・市民のライフスタイルに応じた移動実態を把握することにより、コミュニティバスの運行内容の見直しや路線バスの利用促進等の施策の検討に活用
南部地域ルートの 利用実態・意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・南部地域ルートの認知度、利便性 ・鉄道駅周辺への移動実態 ・路線バスへの乗り継ぎの利用状況 ・デマンド交通等を含めた意向 	<ul style="list-style-type: none"> ○南部地域ルートの運行内容の改善検討 ・便ごとに行先が変わることに対する改善内容 ・鉄道駅や路線バスへの乗り継ぎ先 ・デマンド交通等を含めた見直し検討
公共交通に関する 意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を利用しない理由 ・自動車以外の代替移動手段 ・公共交通の運行で希望する目的地 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の改善内容・利用促進策の検討 ・利用者の意見を踏まえた施策検討

6 調査の実施結果概要（④南部地域見直しアンケート）

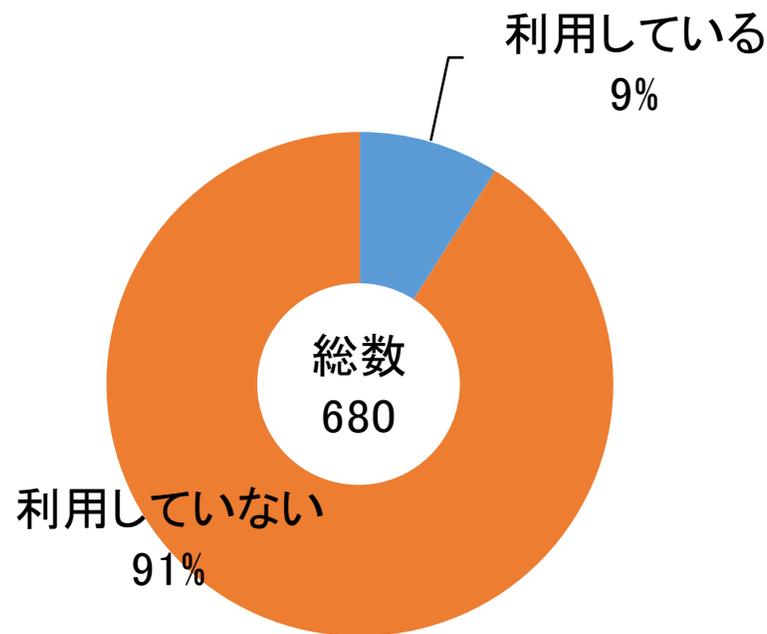
（2）調査結果（南部地域ルートへの認知度、利用状況）

- コミュニティバスの南部地域ルートについて、地域の方の大半が運行していることを知っているが、実際に利用していると答えた方は、全体の約1割程度である
- コミュニティバスを利用しない理由の大半が自動車での移動を挙げており、それ以外では、目的地への運行や運行本数、運行時刻に関する理由が多く挙げられている

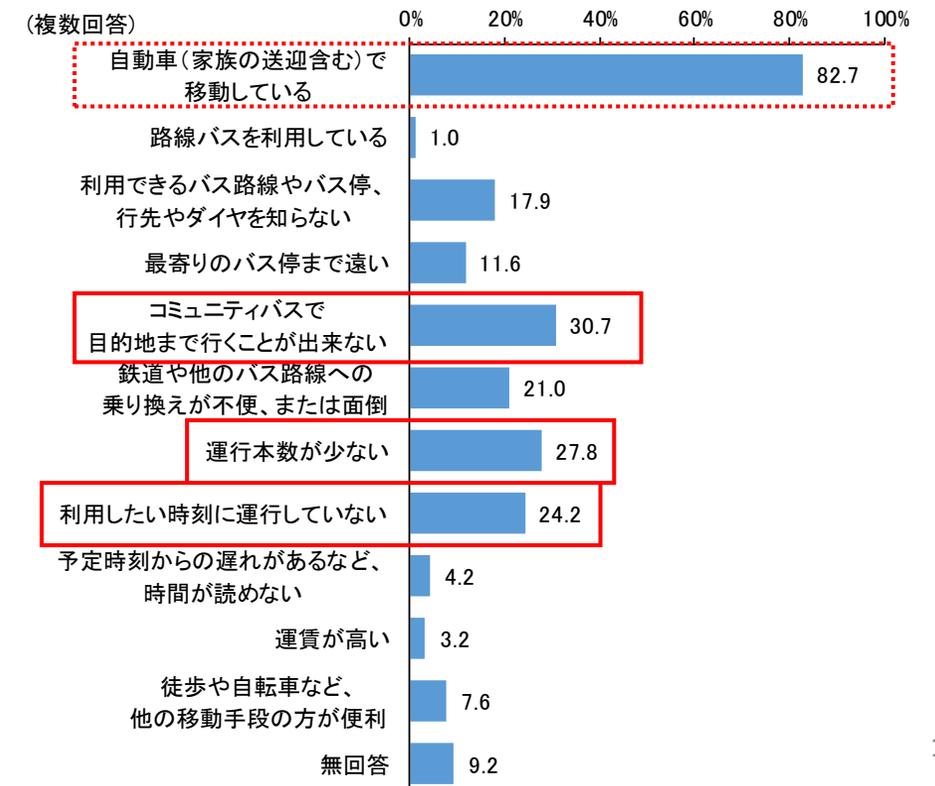
南部地域ルートへの認知度



コミュニティバスの利用状況



コミュニティバスを利用しない理由

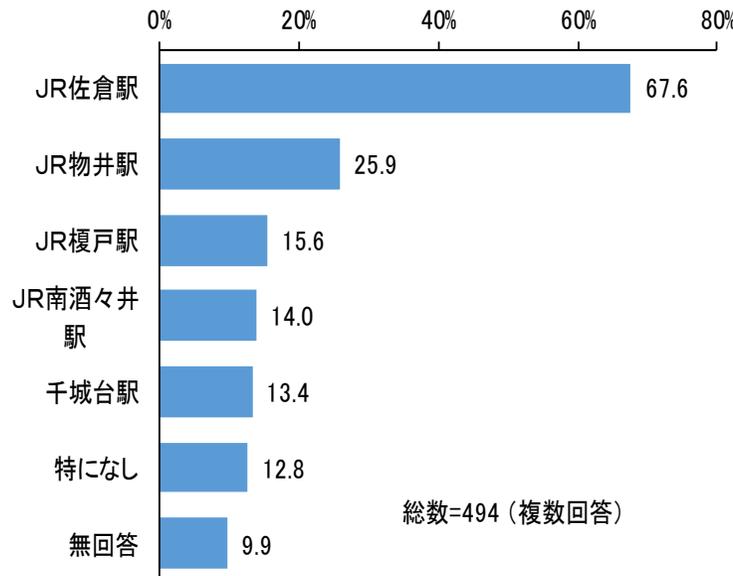


6 調査の実施結果概要（④南部地域見直しアンケート）

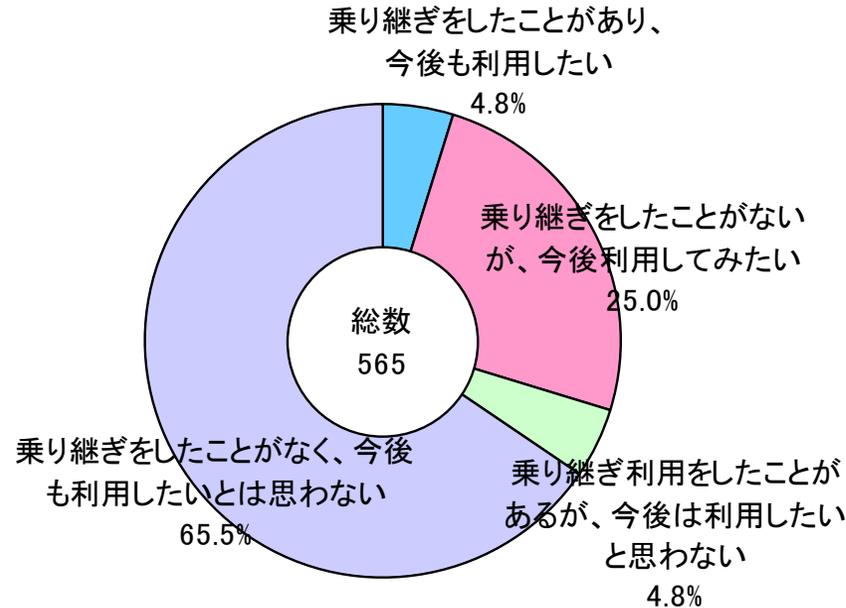
（3）調査結果（接続先の要望、乗継状況、望ましい交通手段）

- 南部地域ルートが接続してほしいと思う鉄道駅は、JR佐倉駅の回答が多く寄せられた
- 一方、JR佐倉駅へ接続する千葉グリーンバスへの乗継ぎ利用をしたことがある人は、全体の約1割程度
- 南部地域における望ましい交通手段として、タクシーチケット等の助成という回答の割合が全体の約5割と最も多く、次に路線バス継続の意見が多く寄せられた

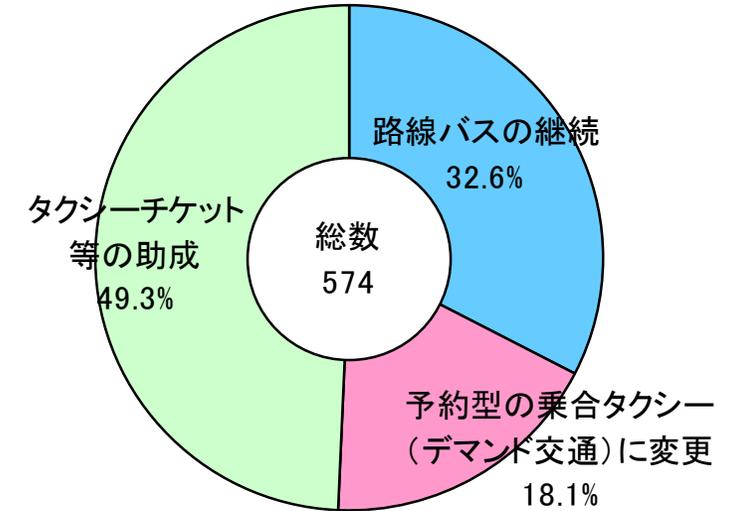
南部地域ルートが接続してほしい
鉄道駅



ちばグリーンバスの
乗継ぎ利用の状況



南部地域における望ましい交通手段



7 調査の実施結果概要（⑤コミュニティバス利用実態調査）

（1）調査概要

コミュニティバス路線について、路線別、便別の利用特性を把握するため、停留所間のODを調査

- ✓ 調査対象 コミュニティバスの全ルート全便
南部地域ルート：2台
その他4ルート：各1台
- ✓ 調査方法 調査員1名がバスに乗車し、目視にて項目に沿って各乗客の記録をする（平日1日、休日1日実施）

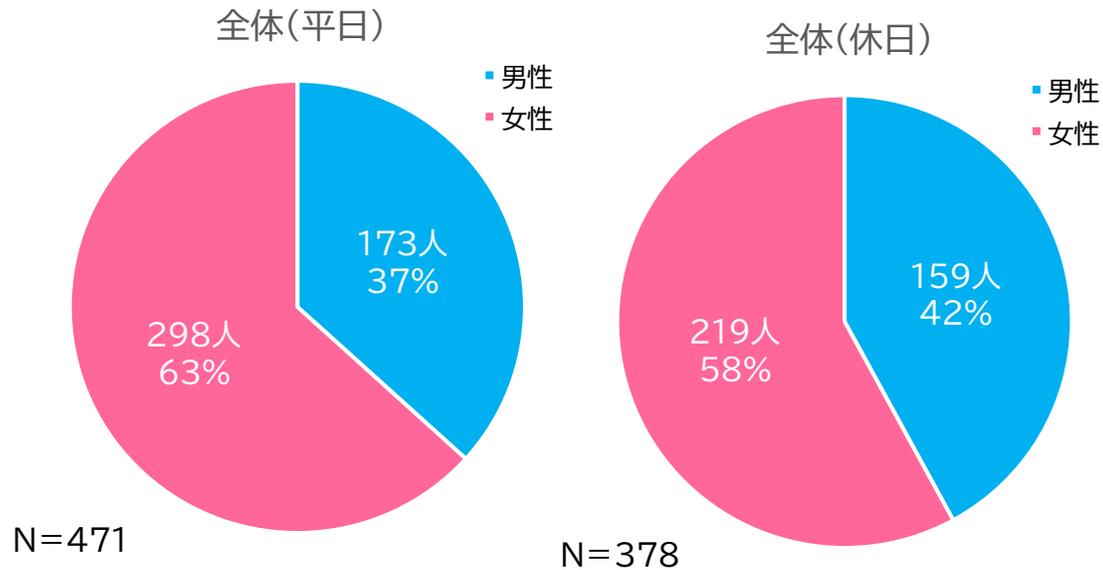
項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	・性別 ・年代5区分 ①小学生、②学生(中・高・大)、③一般 ④高齢者(概ね70歳以上)、⑤障害者)	○属性別の便ごとの移動需要の把握 ○運行頻度の変更により影響を受ける需要の推定等
移動実態	・乗車、降車のバス停 (自由乗降区間での乗降は次のバス停に計上)	○移動需要の高い乗車場所・降車場所の把握 ○時間帯毎の運行頻度の見直し検討

7 調査の実施結果概要 (⑤コミュニティバス利用実態調査)

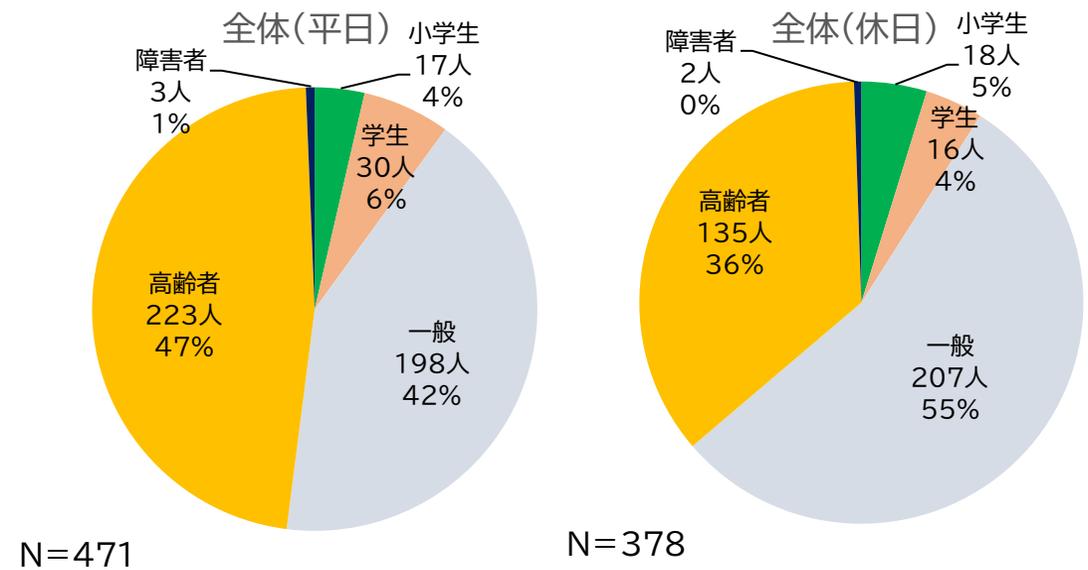
(2) 調査結果 (利用者属性)

- コミュニティバスの利用者は、平日・休日ともに女性の利用者が多く、全体の約6割を占める
- 利用者の年齢層で最も多いのは、平日では高齢者で約5割、休日では一般の成人で約6割の利用が見られる

性別



年齢

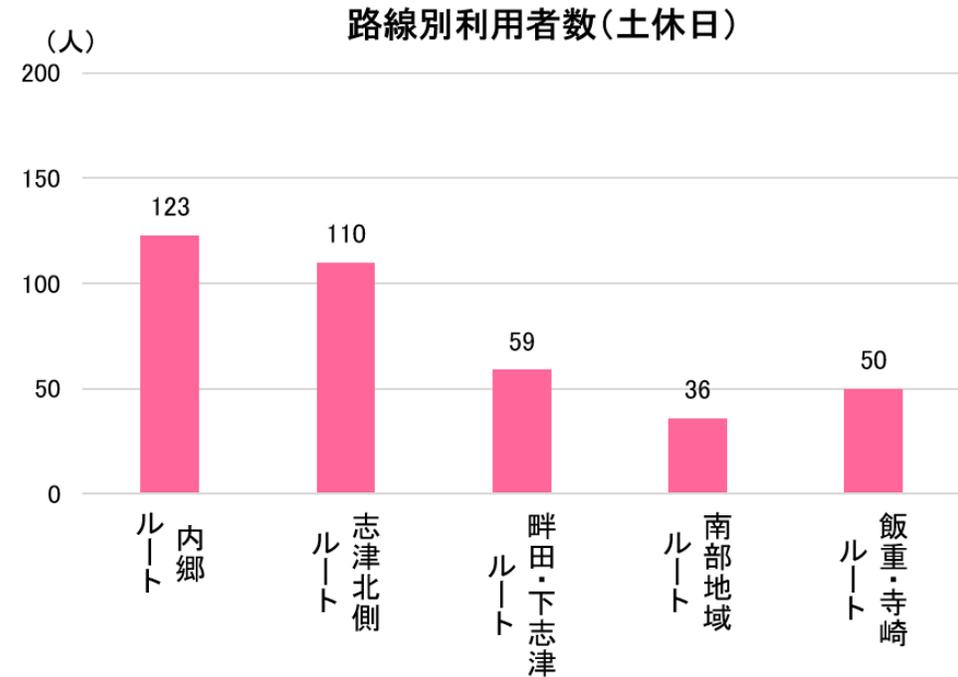
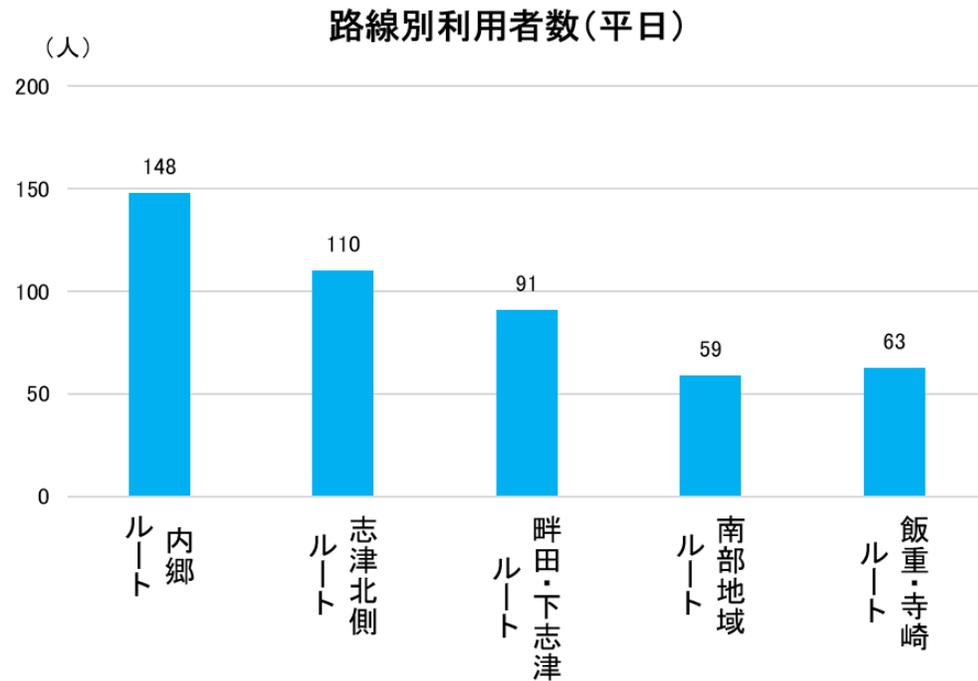


7 調査の実施結果概要 (⑤コミュニティバス利用実態調査)

(3) 調査結果 (利用者数)

- 利用者数は、全ルートともに平日の利用者数が土休日を上回る傾向
- ルート別で比較すると、内郷ルートの利用者数が最も多く、南部地域ルートの利用者数が最も少ない

佐倉市コミュニティバスの利用者数(OD調査結果)



8 調査の実施結果概要（⑥南部地域ワークショップ）

（1）調査概要

- ✓ 目的 南部地域の公共交通の現状と課題、解決策について住民と意見交換を行い、南部地域における望ましい移動手段の検討に向けた基礎資料とする。
- ✓ 参加対象 南部地域（和田地区、弥富地区、根郷地区の一部）の地区代表者
- ✓ 実施方法 所定のテーマについて、グループによる意見交換を行い、結果として集約する。

対象地区	開催日時・場所	テーマ、項目
和田地区（12地区）	・ 令和5年10月25日（水）19時～ ・ 和田ふるさと館	○南部地域の移動・交通の現状と今後の見込み （移動の手段・目的、公共交通を使わない理由、将来の変化・見込み）
弥富地区（8地区） 根郷地区（5地区）	・ 令和5年10月31日（火）19時～ ・ 弥富公民館	○地域住民にとってより便利で使いやすい公共交通とは （コミュニティバスや既存公共交通の改善の視点、デマンド交通導入の視点）

9 今後のスケジュールについて

